

# 国保

## 庄原市国保の将来のために

### 「国保財政のしくみ」

保健医療課国保年金係

☎0824-73-1158



本市の国保財政は、高齢者割合の増加やかかる病気の多様化などで年々厳しい状況となっております。国保事業を安定的に運営していくためには、市の取り組みに加えて、加入者である市民の皆さんのご理解とご協力が不可欠です。

そこで、市民の皆さんに関わりが深い国民健康保険制度について財政の厳しい現状をお知らせするとともに、この制度をより深く知っていただくことを目的に、今月からシリーズで連載していきます。

第1回目は、国保財政(保険税)のしくみをご紹介します。

#### 国保財政の動向

1月号の広報でお知らせしたとおり、国保の加入者数は減少の傾向にあります。しかし、生活習慣病に起因する疾病での受診者は増えており、それ

に伴い医療費も増加し、保険財政を圧迫しています。

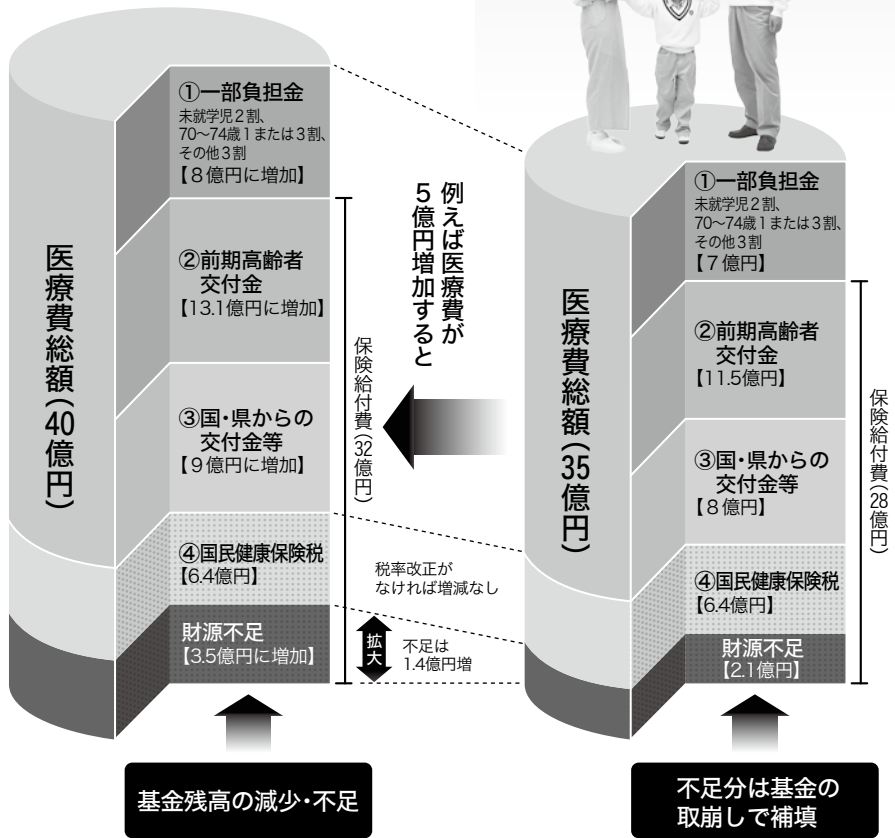
#### 国保財政のしくみ

図に示すとおり、診察・治療にかかった費用(医療費総額)は、皆さんが病院などで受診したときに窓口で支払うお金(①一部負担金)と市の国保会計から支出している『保険給付費』で賄われています。

この保険給付費は、②前期高齢者交付金、③国・県からの交付金等、④国民健康保険税、この3つで支えられています。医療費総額から①②③を差し引いた残りは、保険税で確保すべき金額となります。

#### 国保財政の課題

治療や服薬が増え、医療費の総額が膨らむと、①②③の金額も増えます。



(右図参照)

しかし、保険税は、加入者数や所得に応じて皆さんに負担していただいているので、医療費が増えても保険税が増えることはありません。

そのため現在は、必要な保険税の総額が不足しており、その不足分を「国保の貯金」である財政調整基金を取り崩して穴埋めしています。

その基金もどんどん減少しており、いつまでも穴埋めに頼ることはできないため、保険税率を改正し、保険税で確保する金額を増やしていかなければならなくなっています。

※次回は「保険税の算定方法」です。みなさんの保険税がどのように計算されているかお知らせします。

平成21年度決算では、6,000万円余りの財源が不足しており、本年度はそれ以上、2億3,000万円余りの額が不足する見込みとなっています。